

◇堰堤改良事業 【札内川ダム(十勝川水系札内川)】

- 十勝川水系札内川にある札内川ダムでは、平成28年8月北海道豪雨において、連続して上陸する台風による出水により、異常洪水時防災操作(緊急放流)となったが、ダム容量を最大限活用し、洪水のピークをカットした。
- 平成28年8月洪水と同規模洪水を安全に流下させ、札内川下流の浸水被害軽減を図るため、「洪水後期放流(洪水調節終了後に次の洪水に備えるため、ダム貯水位を下げる)」及び「事前放流(大雨が予測される場合、あらかじめダム貯水位を下げておく)」を目的とした放流能力増強に向けた検討を実施する。

事業計画

事業着手：令和5年度(事業期間は検討中)
 主な事業内容：放流能力増強に向けた検討

札内川ダムの概要

- ・形式：重力式コンクリートダム
- ・目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持かんがい、水道、発電
- ・洪水調節方式：自然調節方式
- ・堤高：114.0m
- ・計画高水流量：700m³/s
- ・堤頂長：300.0m
- ・総貯水容量：54,000千m³
- ・堤体積：770千m³
- ・集水面積：117.7km²
- ・竣工年：平成10年(令和5年まで25年経過)

札内川ダム集水域
(面積117.7km²)

十勝川流域
(面積9,010km²)

札内川ダム



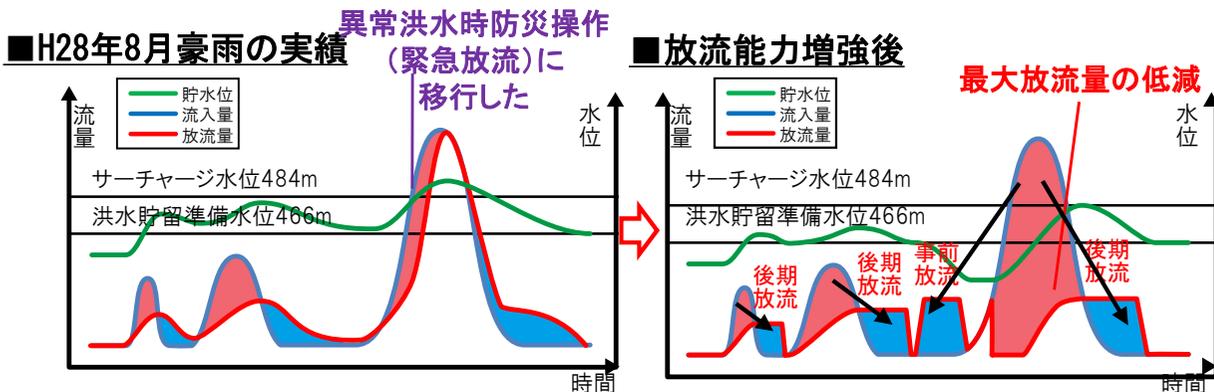
■H28緊急放流の状況



■H28札内川の堤防決壊状況

事業の効果

「事前放流実施時」及び「洪水後期放流時」において、速やかにダム貯水位を低下させるため、放流能力増強に向けた検討を実施。



放流能力増強の検討イメージ



施工例(鶴田ダムの事例)

事前放流による洪水調節可能容量の確保

